

BIMの活用状況・普及拡大に関するアンケート 回答要領

この度はアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

以下の凡例をご参照の上、回答用紙【エクセル表の「シートⅠ」「シートⅡ※」】の設問に、プルダウンによる選択または記入により、ご回答ください。

※「シートⅡ」の設問には、「シートⅠ」のQ3で「②導入していない」を選択した場合のみ回答してください。

自動集計を行うため、列の増減等、エクセルシートの改編はしないでください。

自由記入欄以外はプルダウンから回答を選択してください。

凡例：

単一回答

複数選択可

自由記入

回答不要

BIMの活用状況・普及拡大に関するアンケート

A

自由回答欄以外はプルダウンより回答を選択してください。以下、ご回答いただく際の参考としてご確認ください。

凡例：

単一回答

複数選択可

自由記入

回答不要

■はじめにお伺いします。

Q0: 回答者について記入してください。

※「所属団体」は、回答者の所属する部署に、本調査票を配布した団体を一つ選択してください。

所属団体	
お名前	
電話番号	
メールアドレス	

※国土交通省・事務局にて回答内容を見直し、確認したい事項があればご連絡いたします。
それ以外にお名前、電話番号、メールアドレスの情報を活用することはありません。

□回答者が所属する「企業」について、お伺いします。

Q1-1: 所属企業の属性情報について、当てはまる項目を一つ選択してください。 →

「その他」の場合は、具体的な属性も記入してください。

※例えば施工会社の設計部門に所属する方は、Q1-1では③～⑤(施工会社)の該当するものを選択し、Q2-1(所属部署の業務内容)で①～③の該当する番号を選択してください。

①設計事務所:総合設計事務所

③施工会社:総合建設業

⑥維持管理会社・発注者関係会社

②設計事務所:専門設計事務所

④施工会社:専門工事会社

⑦その他

⑤施工会社:ハウスメーカー

Q1-2: Q1-1で「②設計事務所:専門設計事務所」を選択した場合は、専門とする分野について、当てはまる項目を全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な専門分野も記入してください。

①意匠設計	→		④都市計画	→	
②構造設計	→		⑤積算	→	
③設備設計	→		⑥その他(具体的な内容)	→	

Q1-3: Q1-1で「④施工会社:専門工事会社」を選択された場合は、建設業許可を得た工事種別について、記入してください。 →

Q1-4: 所属企業の規模(従業員数※)について、当てはまるものを一つ選択してください。 →

※本店・支店がある場合は、これらを含む会社全体の従業員数を選択してください。

①1人～2人

⑤21人～30人

⑨301人～500人

⑬5,001人以上

②3人～5人

⑥31人～50人

⑩501人～1,000人

③6人～10人

⑦51人～100人

⑪1,001人～2,000人

④11人～20人

⑧101人～300人

⑫2,001人～5,000人

□回答者が所属する「部署」について、お伺いします。

Q2-1: 所属部署の主な業務内容について、当てはまる項目を一つ選択してください。 →

「その他」の場合は、具体的な業務内容も記入してください。

①意匠設計

⑥施工管理(設備)

⑪製品開発

②構造設計

⑦CM/PM

⑫技術研究・開発

③設備設計

⑧施設管理

⑬積算・見積もり

④工事監理

⑨情報・システム管理

⑭都市計画

⑤施工管理(建築)

⑩品質管理

⑮その他

その他の内容:

Q2-2: 所属部署の規模(職員数)について、当てはまるものを一つ選択してください。 →

①1人～2人

④11人～20人

⑦51人～100人

②3人～5人

⑤21人～30人

⑧101人以上

③6人～10人

⑥31人～50人

Q2-3: 所属部署の所在地(都道府県)について、当てはまる項目を一つ選択してください。 →

□回答者が所属する「企業」におけるBIMの導入状況について、お伺いします。

Q3: 所属する企業におけるBIMの導入状況について、当てはまるものを一つ選択してください。 →

①導入している(BIMソフトとBIMを活用できるコンピュータ等を購入済み) (→Q4へ)

②導入していない (→シートⅡへ)

※Q3で「①導入している」を選択した場合は以下の質問(Q4～Q35)にご回答ください。

※Q3で「②導入していない」を選択した場合はシートⅡの質問(QⅡ-1～QⅡ-6)にご回答ください。

※Q4～Q35は、Q3で「①導入している」を選択された方にお伺いします。

■所属部署でのBIMの導入について、お伺いします。

Q4: 所属部署でBIMを導入した時期について、当てはまるものを一つ選択してください。

- ①最近～半年前
- ②半年前～1年前
- ③1年前～2年前
- ④2年前～3年前
- ⑤3年前～4年前
- ⑥4年前～5年前
- ⑦5年前～10年前
- ⑧10年以上前

Q5: 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけについて、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な背景やきっかけも記入してください。

- ①業務の効率化や業務フローの改善による生産性の向上を期待した
- ②業務の質の向上を期待した
- ③受注機会の創出を期待した
- ④データ連携・蓄積を期待した
- ⑤製作機械への連携等、BIMデータを活用した部材の製作を行うため
- ⑥顧客へのプレゼンテーションに用いるため
- ⑦発注者からBIM活用を求められたため
- ⑧協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められたため
- ⑨海外案件に対応するため
- ⑩他の同規模同業者がBIM活用を進めていたため
- ⑪海外の動向をみて導入した
- ⑫業界の将来的な動向を予想して導入した
- ⑬その他
- その他の内容

Q6: Q5の回答のそれぞれに対し、現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価しますか。それぞれ当てはまるものを一つ選択してください。

- a.期待・予想した以上の成果が出ている
- b.期待・予想した程度の成果が出ている
- c.期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
- d.期待・予想したよりも全く成果が出ていない

- ①業務の効率化や業務フローの改善による生産性の向上を期待した
- ②業務の質の向上を期待した
- ③受注機会の創出を期待した
- ④データ連携・蓄積を期待した
- ⑤製作機械への連携等、BIMデータを活用した部材の製作を行うため
- ⑥顧客へのプレゼンテーションに用いるため
- ⑦発注者からBIM活用を求められたため
- ⑧協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められたため
- ⑨海外案件に対応するため
- ⑩他の同規模同業者がBIM活用を進めていたため
- ⑪海外の動向をみて導入した
- ⑫業界の将来的な動向を予想して導入した
- ⑬その他

■所属部署でのBIMの活用について、お伺いします。

Q7: 所属部署でBIMを活用している人数の割合について、当てはまるものを一つ選択してください。

- ①0%～20%
- ②21%～40%
- ③41%～60%
- ④61%～80%
- ⑤81%～100%

Q8: 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴について、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な特徴も記入してください。

①比較的簡単な形状の建築物	→		⑪竣工後にレイアウト変更が多く想定される建築物	→	
②比較的複雑な形状の建築物	→		⑫過去の図面や同一敷地内の他の建築物にBIMが活用されている場合	→	
③比較的繰り返しの操作・作業が多い建築物	→		⑬関連事業者がBIMを活用できる場合	→	
④比較的規模が小さい建築物	→		⑭民間事業の場合	→	
⑤比較的規模が大きい建築物	→		⑮公共事業の場合	→	
⑥自社・関連会社の建築物	→		⑯PFI事業の場合	→	
⑦スケジュールに余裕がある建築物	→		⑰JV事業の場合	→	
⑧スケジュールに余裕がない建築物	→		⑱設計施工一括方式の場合	→	
⑨発注者が竣工後も自己保有・維持管理する建築物	→		⑲その他	→	
⑩竣工後に改修工事が多く想定される建築物	→		その他の内容		

Q9: 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途について、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な用途も記入してください。

①戸建住宅	→		⑥学校	→	
②共同住宅	→		⑦病院	→	
③事務所	→		⑧庁舎・公共施設	→	
④商業施設	→		⑨ホテル・旅館	→	
⑤工場	→		⑩その他	→	
			その他の内容		

Q10: 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別について、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な構造も記入してください。

①S造	→		④木造	→	
②RC造	→		⑤混構造	→	
③SRC造	→		⑥その他	→	
			その他の内容		

Q11-1: 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の数について、当てはまるものを一つ選択してください。

①0件	③6～10件	⑤21件～30件	→	
②1～5件	④11件～20件	⑥31件以上		

Q11-2: 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合について、当てはまるものを一つ選択してください。

①0%～20%	③41%～60%	⑤81%～100%	→	
②21%～40%	④61%～80%			

Q12: 所属部署でのBIMの活用状況について、当てはまるものを一つ選択してください。

①積極的に活用している(→Q14へ)	②積極的には活用していない(→Q13へ)	→	
--------------------	----------------------	---	--

Q13: Q12で「②積極的には活用していない」を選択した場合、その理由について、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な理由も記入してください。

①まだ導入したばかり又は習熟途中である	→	
②活用したいが活用方法がわからない	→	
③活用したいが活用できる人材が不足している	→	
④協力会社からの要請があれば活用するが、その他では積極的に活用していない	→	
⑤活用したが効果が出なかったため	→	
⑥その他	→	
その他の内容		

■所属部署でのBIM活用のメリット・効果について、お伺いします。

Q14: 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等について、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的なフェーズも記入してください。

①企画・基本計画	→		⑦実施設計(構造)	
②基本設計(意匠)			1) 伏図、軸組図、部材断面表の いずれかまたはすべての作成	→
1) 仕上概要表、面積表及び求積図、 配置図、平面図、断面図、立面図の いずれかまたはすべての作成	→		2) 上記以外の図書の作成	→
2) 上記以外の図書の作成	→		3) 図書作成以外の活用	→
3) 図書作成以外の活用	→		⑧実施設計(機械設備)	
③基本設計(構造)			1) 配置図、機器表、設備平面図の いずれかまたはすべての作成	→
1) 主要構造部材の配置情報や主要 構造部材の断面情報のBIMへの入力	→		2) 上記以外の図書の作成	→
2) 上記以外の活用	→		3) 図書作成以外の活用	→
④基本設計(機械設備)			⑨実施設計(電気設備)	
1) 主要な床置設備機器の 配置と主要能力や インフラ供給ルートのBIMへの入力	→		1) 配置図、幹線平面図の いずれかまたはすべての作成	→
2) 上記以外の活用	→		2) 上記以外の図書の作成	→
⑤基本設計(電気設備)			3) 図書作成以外の活用	→
1) 主要な床置電気機器の 配置と主要能力や インフラ供給ルートのBIMへの入力	→		⑩積算	→
2) 上記以外の活用	→		⑪施工計画の作成	→
⑥実施設計(意匠)			⑫施工図の作成	→
1) 仕上表、面積表及び求積図、 配置図、平面図、断面図、立面図の いずれかまたはすべての作成	→		⑬発注に向けた数量算出	→
2) 上記以外の図書の作成	→		⑭BIMデータ受け渡しによる発注	→
3) 図書作成以外の活用	→		⑮BIMデータを活用した部材の製作	→
			⑯工程管理	→
			⑰工事監理	→
			⑱維持管理に向けたBIMデータ引渡し	→
			⑲維持管理	→
			⑳その他	→
			その他の内容	

Q15: 所属部署でBIMの導入によりメリット・効果が得られたと実感できるのはどのような場面でしょうか。当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な場面も記入してください。

①3Dでの可視化によるコミュニケーションや理解度の改善	→	
②設計図書間での整合が図りやすくなった	→	
③顧客に対して良い印象を与えられた	→	
④設計変更に伴う手間やコストが減少した	→	
⑤手戻りや調整の減少によりプロジェクトが円滑に進むようになった	→	
⑥その他	→	
その他の内容		
⑦メリット・効果が得られたと実感できる場面がない。	→	

Q16: 所属部署でBIMの導入によるメリット・効果が得られていないと感じるのは、どのような場面でしょうか。当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な場面も記入してください。

①現在のCAD等の業務に加えてBIMを活用しており、結果として二重作業になるなど、 作業にかかる時間・手間が増加している	→	
②確認申請のために紙やPDFへの出力が必要となり、結果として二重作業になるなど、 作業にかかる時間・手間が増加している	→	
③習熟に係る時間や作業手間に対して、現時点では得られるメリットが少ない	→	
④協力会社でBIMが導入されておらず、分野をまたいだ連携ができていない	→	
⑤ソフト・システム等の維持費が負担となっている	→	
⑥効率的に活用するための自社でのシステム構築や標準化を図ることが負担となっている	→	
⑦人材育成の費用・時間等が負担となっている	→	
⑧建材等のBIMデータが流通していない	→	
⑨BIM活用環境が取引先・プロジェクトごとに異なり、これに対応するため、 作業にかかる時間・手間が増加している	→	
⑩その他	→	
その他の内容		

⑪ メリット・効果が得られていないと感じる場面はない

→

Q17: BIMを活用したことによるメリット・効果について、当てはまるものを一つ選択してください。

→

① 非常に
大きい

② 大きい

③ どちらとも
いえない

④ 効果は
小さい

⑤ デメリットの方が
大きい



■所属部署のBIMデータでの連携について、お伺いします。

Q18: BIM活用において、データを受け渡し、各フェーズ(設計～施工～維持管理等)をデジタルデータで連携させることが重要な要素の一つと考えられていますが、これまでに所属部署と自社内の他部署、又は社外とのデータ連携を行ったことはありますか。当てはまるものを一つ選択してください。

①ある (→Q19へ) ②ない (→Q21へ)

→

Q19: Q18で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携ですか。当てはまるものを全て選択してください。

①自社内の他部署とのデータ連携

→

②社外とのデータ連携

→

Q20: Q19で「②社外とのデータ連携」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携ですか。当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的なデータ連携者も記入してください。

①発注者-設計者間

→

⑥施工者-製造者間

→

②設計者間

→

⑦設計者-維持管理者間

→

③設計者-施工者間

→

⑧施工者-維持管理者間

→

④発注者-施工者間

→

⑨発注者-維持管理者間

→

⑤施工者間

→

⑩その他

→

その他の内容

Q21: 所属部署でのBIMの活用において、クラウドサーバー上に共通データ環境(CDE環境)を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはありますか。当てはまるものを一つ選択してください。

①ある (→Q22へ) ②ない (→Q23へ)

→

Q22: Q21で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなCDE環境の構築を行いましたか。当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的なCDE環境構築の相手なども記入してください。

①自社内の他部署とのCDE環境の構築

→

④受注者と関連・協力会社との

→

②発注者とのCDE環境の構築

→

CDE環境の構築

③受注者間でのCDE環境の構築

→

⑤その他

→

その他の内容

Q23: 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内ルールを定めていますか。当てはまるものを一つ選択してください。また定めている場合は、具体的な「BIMデータということで特に留意している点」について記入してください。

①定めている ②定めていない

→

BIMデータということで特に留意している点：

■所属部署におけるBIMを活用する人材について、お伺いします。

Q24: 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況について、当てはまるものを一つ選択してください。

①充足している

③やや不足している

⑤わからない

②やや充足している

④不足している

→

Q25: 所属部署におけるBIMの活用を推進するにあたり、今後、求められる人材について、意見やお考えはありますか。当てはまるものを一つ選択してください。

①ある (→Q26へ) ②ない、わからない (→Q27へ)

→

Q26: Q25で「①ある」を選択した場合は、所属部署におけるBIMの活用を推進するにあたり、今後、どのような人材が求められるとお考えですか。①～⑥のうち最も当てはまるものを一つ選択し、番号を記入してください。また、その他の当てはまるものすべてに○をつけてください。「その他」の場合は、具体的な人材も記入してください。

最も当てはまるもの

→

最も当てはまるものの番号

①プロジェクトのBIM利用に必要な利用技術や管理能力を持つ建築技術者、かつICTの専門家

→

当てはまるものすべてに○

②プロジェクトのBIM利用に必要な利用技術を持つ建築技術者

→

③BIMオペレーター、BIMモデラー

→

④BIM導入時の相談・指導や、導入直後のプロジェクトへの相談・指導などを行うコンサルタント

→

⑤建築分野のICTを活用できる建築技術者

→

⑥その他

→

その他の内容

Q27: 所属部署において、BIMを活用する人材を育成するために、教育に必要な期間は概ねどれくらいですか。当てはまるものを一つ選択してください。

※ 必要な業務を任せるに当たり、想定されるBIMの教育期間の目安をお答えください。

→

①3か月未満

④概ね1年

⑦3年以上

②概ね3か月

⑤概ね1年半

⑧わからない

③概ね半年

⑥概ね2年

■所属企業におけるBIMに関する社内の教育・環境整備について、お伺いします。

Q28: 所属企業が行っている「BIMに関する教育の取組(例:OJT、研修等)」はありますか。当てはまるものを一つ選択してください。

①ある (→Q29へ)

②ない (→Q30へ)

→

Q29: Q28で「①ある」を選択した場合は、所属企業が行っている「BIMに関する教育の取組」について、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な内容も記入してください。

①OJT(実際の業務を通じた教育)

→

⑤社内相談窓口の設置

→

②社内研修(内部講師)

→

⑥関連・協力会社への研修等

→

③社内研修(外部講師)

→

⑦その他

→

④社外研修や外部セミナーへの参加

→

その他の内容

Q30: BIMの活用推進にあたり、所属企業が行っている取組(例:目標・方針策定、専門部署の設置、社内ルール整備、自社独自のオブジェクト等の導入、等)はありますか。当てはまるものを一つ選択してください。

①ある (→Q31へ)

②ない (→Q32へ)

→

Q31: Q30で「①ある」を選択した場合は、所属企業が行っている「BIMの活用推進に向けた取組」について、当てはまるものを全て選択してください。「その他」の場合は、具体的な内容も記入してください。

①BIM活用プロジェクトの割合等の目標や活用方針の策定

→

②BIM専門の部署の設置

→

③社内ルール、マニュアル等の整備

→

④自社独自のオブジェクト、テンプレート等の導入

→

⑤その他

→

その他の内容

■今後のBIMの展望等について、お伺いします。(アンケート調査回答者の見解をお答えください。)

Q32: 国内でBIMの普及を図る上で、今後の展開に特に期待することについて、当てはまるものをすべて選択してください。「その他」の場合は、具体的な人材も記入してください。

①ライフサイクルを通じたBIMの活用の進展

→

⑩データ連携手法の確立、情報共有環境整備

→

②標準的なBEP、EIRの整備

→

⑪BIMデータを部材製作に活用できる製作機械の普及

→

③標準契約書の整備

→

⑫データ真正性確保技術等の確立

→

④BIMオブジェクトの標準化

→

⑬BIM技術者資格認証制度

→

⑤BIMの属性情報の標準化

→

⑭BIM講習・研修手法の整備

→

⑥BIMオブジェクトと仕様情報の連携

→

⑮ビッグデータとしての活用促進

→

⑦BIMを活用した建築確認検査

→

⑯ライフサイクルアセスメントの算定

→

⑧分類体系の整備

→

⑰その他

→

⑨BIMを活用したコストマネジメント手法の確立

→

Q33: 国土交通省の「建築BIM推進会議」の取組とwebサイトについて、当てはまるものを一つ選択してください。

→

- ①会議があることを知っており、webサイトを見たことがある。
- ②会議があることを知っているが、webサイトは見たことがない。
- ③会議があることを知らず、webサイトを見たことがない。

Q34: 国土交通省の「建築BIMの将来像と工程表」について、当てはまるものを一つ選択してください。

→

- ①「建築BIMの将来像と工程表」があることを知っており、読んだことがある。
- ②「建築BIMの将来像と工程表」があることを知っているが、読んだことがない。
- ③「建築BIMの将来像と工程表」があることを知らず、読んだことがない。

Q35: 国土交通省の「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第2版)」について、当てはまるものを一つ選択してください。

→

- ①ガイドラインがあることを知っており、読んだことがある。
- ②ガイドラインがあることを知っているが、読んだことがない。
- ③ガイドラインがあることを知らず、読んだことがない。

参考: 建築BIM推進会議HP

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/kenchikuBIMsuishinkaigi.html>

「建築BIMの将来像と工程表(増補版)」

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/content/001603587.pdf>

「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第2版)」

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/content/001488797.pdf>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※シートⅠ Q3で「②導入していない」を選択された場合は以下の質問(QⅡ-1～QⅡ-6)にご回答ください。

■今後のBIMの導入について

QⅡ-1: 今後のBIMの導入についてどのようにお考えですか？当てはまるものを一つ選択してください。

- ①導入予定はない・未定
②導入の予定はないが導入に興味がある
③3年以内に導入する予定がある

→

QⅡ-2: BIMの導入に至らない理由について、当てはまるものを全て選択してください。

「その他」の場合は、自由記入欄に記入してください。

(1. BIMを活用した業務やBIMの導入)

- ①BIMとは何か、何に活用できるのかを詳しく知らないため
②BIMを導入し、業務を行うためには何から始めればよいかわからないため
③BIMの導入効果を詳しく知らないため

→
→
→

(2. 業務負担・業務体制)

- ④CAD等で現状問題なく業務を行うことができているため
⑤業務をBIMに切り替えた場合、習熟するまで業務負担が大きい
⑥既にBIMを活用しない仕組みで高効率な業務体制等を構築できているため

→
→
→

(3. 費用負担・効果)

- ⑦費用対効果の面で、投資する費用を超える生産性向上効果等が現状見込めない
と考えるため
⑧費用対効果の面で、投資する費用を超える生産性向上効果等がわからないため
⑨BIMを活用する人材がいらないため、又は人材育成・雇用に費用がかかるため
⑩BIMのソフト等の購入・維持に高額な費用がかかるため
⑪BIMのソフト等の購入・維持に費用がいくらかかるかわからないため
⑫高性能のコンピュータ等、BIM活用のためのICT機器の導入・維持に費用がかかるため

→
→
→
→
→
→

(4. 業務を取り巻く環境)

- ⑬発注者からBIM活用を求められていないため
⑭協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められていないため
⑮他の同規模同業者がBIM活用を進めていないため

→
→
→

(5. その他)

- ⑯確認申請において紙やPDFへの出力が必要であるため
⑰BIMデータは、これまでの図面等と比べて長期的な真正性や見読性が不安であるため
⑱製作機械への連携等、部材の製作へのBIMデータの活用が見込めないため
⑲その他

→
→
→
→

その他の内容

QⅡ-3: 今後BIMの導入を決断する契機として考えられるものについて、当てはまるものを全て選択してください。

「その他」の場合は、自由記入欄に記入してください。

(1. 業務負担・業務体制)

- ①業務をBIMに円滑に切り替え、習熟していく手法が明らかとなること

→

(2. 費用負担・効果)

- ②BIMの導入による費用対効果が明らかになること
③BIMに係るコスト(ソフト・人材育成等)が低減すること

→
→

(3. 業務を取り巻く環境)

- ④民間発注でBIM活用が求められること
⑤公共発注でBIM活用が求められること
⑥協力会社等、業務上の関係者がBIM活用を進めること
⑦他の同規模同業者がBIM活用を進めていること

→
→
→
→

(4. 市場環境等の整備)

- ⑧メーカーの提供するBIMオブジェクト等の図面材料が充実化すること
⑨BIMを扱える技術者が業界に増えること
⑩各種行政手続き(確認申請等)でBIMを活用し、電子申請を容易に行えるようになること
⑪分類体系が整備され、コストマネジメントが容易になること

→
→
→
→

- ⑫データの連携手法や、真正性・セキュリティ確保等の環境が整うこと
- ⑬製作機械への連携等、BIMデータを活用した部材の製作が普及・容易になること
- ⑭BIMデータの長期的な真正性や見読性が確保されること
- ⑮テレワークが進展すること

→

→

→

→

(5. その他)

- ⑯その他

→

その他の内容

■国土交通省のBIMの取組について、お伺いします。
(アンケート調査回答者の見解をお答えください。)

Q II-4: 国土交通省の「建築BIM推進会議」の取組とwebサイトについて、
当てはまるものを一つ選択してください。

- ①会議があることを知っており、webサイトを見たことがある。
- ②会議があることを知っているが、webサイトは見たことがない。
- ③会議があることを知らず、webサイトを見たことがない。

→

Q II-5: 国土交通省の「建築BIMの将来像と工程表」について、当てはまるものを一つ選択してください。

- ①「建築BIMの将来像と工程表」があることを知っており、読んだことがある。
- ②「建築BIMの将来像と工程表」があることを知っているが、読んだことがない。
- ③「建築BIMの将来像と工程表」があることを知らず、読んだことがない。

→

Q II-6: 国土交通省の「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン
(第2版)」について、当てはまるものを一つ選択してください。

- ①ガイドラインがあることを知っており、読んだことがある。
- ②ガイドラインがあることを知っているが、読んだことがない。
- ③ガイドラインがあることを知らず、読んだことがない。

→

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

参考: 建築BIM推進会議HP

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/kenchikuBIMsuishinkaigi.html>

「建築BIMの将来像と工程表(増補版)」

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/content/001603587.pdf>

「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第2版)」

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/content/001488797.pdf>